

## 目次

はしがき.....	i
略語表.....	viii
<b>序章 2008年の東アジア</b> .....	1
1 ブッシュからオバマへ.....	2
2 責任大国中国の課題.....	4
3 大規模自然災害をめぐる国際協力の進展.....	5
4 気候変動・エネルギー・食糧問題への関心の高まり.....	6
<b>第1章 原子カルネッサンスと核不拡散体制</b> .....	9
1 NPT 第4条が抱える問題とその対処策.....	11
2 NPT からの脱退問題.....	15
3 テロリストなど非国家主体への拡散防止.....	18
(1) 核テロの危険性.....	18
(2) 核テロ対策.....	20
4 米印原子力協力の再開.....	25
(1) 米印関係の深化と民生用の原子力合意の背景.....	25
(2) 米印原子力合意の概要.....	28
(3) 「ハイド法」から米印原子力協定へ.....	30
(4) 米印原子力協定に対する NSG と米国議会の姿勢.....	33
(5) インドとの原子力協力の再開と核不拡散体制.....	36
<b>第2章 気候変動・エネルギー・食糧問題と安全保障</b> .....	41
1 気候変動と安全保障.....	43
(1) 気候変動と安全保障に関する国際社会での議論.....	43
(2) 気候変動が安全保障に及ぼす影響.....	48
2 エネルギー問題と安全保障.....	51
(1) 原油価格の動向.....	51
(2) 投資を阻害する諸要因.....	56
(3) エネルギー価格の上昇が安全保障に及ぼす影響.....	58
3 食糧問題と安全保障.....	58

(1) 食糧価格の高騰.....	58
(2) 食糧価格高騰の原因と対応策.....	60
(3) バイオ燃料への関心の高まり.....	62
(4) 食糧価格の上昇が安全保障に及ぼす影響.....	65
<b>第3章 朝鮮半島——北朝鮮非核化の停滞と米韓同盟の再強化.....</b>	<b>67</b>
1 核検証をめぐり停滞する六者会合.....	69
(1) ウラン濃縮と大量破壊兵器拡散をめぐる疑惑の再浮上.....	69
(2) テロ支援国指定解除へ向けた揺さぶり.....	70
(3) 寧辺核施設無能力化のカードと「戦略的決断」の不透明.....	72
2 北朝鮮——核保有国既成事実化への邁進.....	74
(1) 「強盛大国」へ向けての国内経済の重視.....	74
(2) テポドン発射10周年と新ミサイル発射施設の発見.....	76
(3) 対米関係優先の継続と、拉致問題・重油支援未履行をめぐる対日攻勢....	77
(4) 体制の安定性に対する国際的懸念の高まり.....	78
(5) 今後の日本の課題.....	81
3 韓国——経済と対米関係の修復を目指す保守政権.....	83
(1) 新政権にデモの洗礼.....	83
(2) 未来志向の米韓同盟.....	84
(3) 日中露との関係強化.....	86
(4) 停滞する対北朝鮮関係.....	90
(5) 国防分野での見直し.....	92
<b>第4章 中国——自信と不安の交錯.....</b>	<b>99</b>
1 国際環境の安定化を図る中国.....	101
(1) 不可欠な対外協調とその限界.....	101
(2) 対日関係の強化.....	104
(3) 好転する兩岸関係.....	110
2 「和諧世界」の構築を目指す中国のグローバル戦略.....	113
(1) 「和諧世界」論の重点としての対発展途上国外交.....	113
(2) 対アフリカ外交の重視.....	117
(3) 困難に直面する中国の大国外交.....	121
3 非伝統的脅威の人民解放軍への影響.....	126
(1) 増加を続ける国防費.....	126
(2) 戦力投射能力不足の自覚.....	129
(3) 体制編制改革の継続.....	131
(4) 国防部報道官の誕生.....	133
4 「守勢」に転ずる台湾の国防政策.....	135

<b>第5章 東南アジア——非伝統的安全保障協力の進展</b> .....	139
1 ミャンマーのサイクロン被害と国際災害救援活動 .....	141
(1) デモ弾圧後の軍事政権に対する国際社会の対応 .....	141
(2) 新憲法の制定 .....	143
(3) サイクロン被害への軍事政権と国際社会の対応 .....	144
(4) サイクロン被害への ASEAN の対応 .....	146
2 ASEAN の内政と域内・域外関係.....	149
(1) 内政——マレーシアとタイの政治変動 .....	149
(2) 域内関係——憲章の批准と人権機関.....	154
(3) 域外関係——日本および北朝鮮の動向を中心に.....	156
3 東南アジアの軍事動向.....	159
(1) 各国の国防予算・調達状況——インドネシアの装備調達を中心に .....	159
(2) テロの現況と軍事協力の進展——フィリピンの場合を中心に.....	162
<b>第6章 ロシア——自立した戦略プレーヤーへ</b> .....	165
1 史上異例の双頭体制.....	167
(1) メドヴェージェフ新政権の誕生 .....	167
(2) 2020 年までのロシアの発展戦略.....	169
(3) 政軍関係の軋み.....	172
2 強硬姿勢を貫くロシア外交 .....	174
(1) ソ連解体後初の国外軍事行動.....	174
(2) 悪化する米露関係.....	178
(3) 独自の東アジア外交の模索 .....	181
3 ロシア軍のイノベーション .....	185
(1) 軍改革の新段階 .....	185
(2) 軍事的勢力圏の拡大 .....	188
(3) 低迷した国防産業の再生 .....	191
<b>第7章 米国——ブッシュ政権の終焉と残された課題</b> .....	195
1 米国の安全保障戦略.....	197
(1) 正念場を迎えたイラク戦略とテロとの闘い.....	197
(2) 新たな国防戦略——「国家防衛戦略」と 「21 世紀における国家安全保障と核兵器」.....	208
(3) ミサイル防衛と米露関係 .....	210
(4) ブッシュ政権下の米軍のトランスフォーメーション .....	213
2 米国のアジア・太平洋政策 .....	215
(1) 東アジア主要国との関係 .....	215
(2) 北朝鮮の核問題への対応.....	220

3	オバマ新政権の安全保障戦略と対外政策の展望.....	222
---	----------------------------	-----

## 第8章 日本——防衛大綱の見直しに向けて..... 229

1	ブッシュ政権における日米同盟と今後の課題.....	231
	(1) 「歴史上最良」と呼ばれた日米同盟.....	231
	(2) 米軍再編——合意の実行にむけて.....	233
	(3) ブッシュ政権後の日米同盟の課題.....	237
2	岐路に立つ自衛隊の国際平和協力活動.....	239
	(1) 現防衛大綱における国際平和協力活動の位置付けと 国連平和維持活動（PKO）へのかかわり.....	239
	(2) 自衛隊の国際平和協力活動の縮小の背景.....	242
	(3) 国際社会のより一層の努力を必要とするアフガニスタン.....	247
	(4) 深刻化するソマリアの海賊問題.....	251
3	日本の防衛力の今後の課題.....	255
	(1) 現防衛大綱の特徴——2つの目標と3つのアプローチ.....	255
	(2) 現防衛大綱の基本的な考え方の評価.....	256
	(3) 今後の防衛力のあり方における論点.....	259

## 解 説

濃縮ウラン.....	19
原子力供給国グループ（NSG）.....	27
朝鮮半島の2012年問題.....	79
米国の対北朝鮮「レッドライン」とは.....	80
金正日継承問題.....	82
韓国 着実に進む装備の近代化.....	98
2008年版中国国防白書.....	128
東南アジア友好協力条約（TAC）.....	157
混迷するパキスタン.....	206
日豪の安全保障協力.....	244

## 資 料

ミャンマーの民主政へのロードマップ.....	143
「米露戦略的枠組み宣言」（2008.04.06）の概要.....	179